

ハイテク企業・プロフィール

カナダの先端技術産業は、今やオンタリオ州のオタワ・バレーやトロント市近辺をはじめ全国各地に広がり、大小多くの企業がさまざまな分野で活躍している。代表的企業のいくつかをご紹介します。

■マイテル

オンタリオ州カナタにある通信機械・半導体の世界的メーカー、マイテル社は、カナダで最も成功したハイテク・ベンチャーといわれる。過去八年間、売り上げを年々倍増し、昨年は推定二億余ドル、八年には十五億ドルを見込んでいます。米、欧、アジア、アフリカなど全世界に社員四千人、工場・販売会社五十八か所。日本でも子会社・日本マイテルが、半導体や高性能P BX（構内交換機）などの販売活動を展開している。

マイテルの主力製品は、最先端のマイクロエレクトロニクス技術を駆使したP BX「スーパースイッチ」シリーズ。世界で最も小型かつ高性能のSX2000をはじめ、世界最初の音声合成機能をもつSX10、音声とデータを同時に別個にも処理でき、電話、ファクシミリ、データ通信、ワープロなどあらゆる通信形態を交換できる新開発のSX2000（伝送速度二五六kb/s）などがある。



マイテル社のLSI品質検査

マイテル社は、SX2000の電話・コンピュータ機能を利用して、管理職用ワーク・ステーション「コンタクト」を開発した。これは、電子郵便、タイム

管理、財務計画、データ通信、ワード・プロセッシングを音声電話と組み合わせた多機能端末装置である。

マイテル社はまた、SX2000の音声・データ交換システムをIBMのデータおよびワード処理技術と組み合わせ、新しいOA製品シリーズを開発するという契約を、IBM社と交わしている。

昨年は宇宙通信の分野にも進出し、交換機と衛星通信の地上システムとを一緒にした「スカイスイッチ」を新発売した。マイテルはまた、従来カナダが弱いとされていた半導体の分野でも卓越した技術力を示し、特許製法のISO-CMOS

技術によるLSI（高密度集積回路）は、電話とP BXの市場で高速処理、低消費電力、高密度化を促進したといわれている。通信機器用VLSI（超LSI）の開発にも成功、すでに出荷している。

■ガンダルフ・テクノロジーズ

マイテルの成功に続くハイテク・ベンチャーとされているのが、ガンダルフ・テクノロジーズ社である。

カナダ最大のデータ伝送機器メーカーであるガンダルフは、一九七〇年の創立以来、これまでに四十万台のデータ伝送機器を、電話会社などの通信業者、大学・研究所、政府機関、銀行、工場などに販売してきた。アメリカ、イギリス、スイスにも子会社を持ち、欧州、オーストラリア、南米、日本（日商エレクトロニクス）などに代理店をおく。

主力製品のデータ通信用私設交換機PACXはそもそも、モントリオールのマギル大学で構内に多設されるようになったさまざまなCPU（中央処理装置）へ、どのコンピュータ端末からも自由に接続したり接続解除したりできるように自動交換機があつたら——との要望に応えて開発されたもの。以来十二年間、世界でこの種のメーカーはごく少なく、ガンダルフの独壇場とさえいわれている。

同社では昨年末、メーカーの違う互換性のないコンピュータをつなぐ新機種PACXNETを開発した。これを使えばユーザーは、メーカー（互換性）を気にせずそのつど用途や性能、コストに応じたコンピュータを選べるし、手持ちのCPUも新しいデータ通信ネットワークに組み込めるようになる、と期待されている。

そのほか同社は、低電圧でノイズの少ないモデム、マイコン制御のマルチプレクサー（データ多重化装置）など、各種のデータ伝送装置を製造している。

■AESデータ

ワープロ・メーカーとして世界的に有名なAESデータ社は、創立一九七四年わずか十年足らずの間にカナダ国内のほか米国、英国、スイス、オランダ、ベルギーなどに生産販売網を広げ、売り上げ高一億二千万ドル（八〇年）、従業員二千人の企業となった。

AES製ワープロ「PLUS」シリーズ

AES社のワープロ組み立て作業



ズは、欧文ワープロとしては従来のタイプライターと変わらない使い易さが特徴。日本でも貿易業務のドキュメント作成や会計業務、医学関係のレポート、国際契約書類の作成、国際電話での海外とのコミュニケーション・ネットワークなどに使用されている。科学計算式や化学記号を打ち出せる機種もある。

■ノルパツク

ビデオテックス（双方向文字図形情報システム）、テレテキスト（テレビに文字や静止画を送る文字多重放送）の最先端技術の分野で、早くからその製品化に取り組んできたのが、オンタリオ州カナタのノルパツク社である。

もともと企業向け、研究界向けの情報処理システムの設計、開発、製造を専門とし、コンピュータのカラー・グラフィック・システムでは定評がある。

ノルパツク社製テリドン・システムの主力は、デコーダー（表示端末器）と画像入力装置（IPS）。いずれも最近定められた画像通信方式の北米（カナダ、米国）標準（NAPLPS）とコンパチブルで、カラー・グラフィックの情報伝達力を見事に実現してくれる。

MK4ビデオテックス・デコーダーのディスプレイには手持ちのテレビ受像機